

たいむ

8月号 [H27.8.6発行]

■☆七夕さまにおねがいごとをしました☆■



7月2日(木)から、たいむでも廊下に2本の笹竹を置き、短冊や飾りをつけました。お母さんが子どもに代わって願い事を書いたり、自分で一生懸命書く子もいて、とても和やかな雰囲気でした。年少・年中児はお母さんと折り紙でスイカや貝などを作って飾っていました。また、「幼稚園でも作ったよ」「〇〇に行けますようになって書いたの」など、たくさんのお話を聞かせてくれました。

ふと目に付いた短冊をよく見てみると、なんと学生が書いた短冊でした。内容は「世界平和」「彼女が欲しい」などで、お母さん方からは「学生さんらしい、かわいいお願い事だね。」と、ほのぼのとした話題

の一つになっていました。学生が何気なく書いた短冊は、たいむから学生へ誘いかけた訳ではなく、学生自らが参加しました。このような、小さな出来事でも子ども・保護者・学生みんなで飾り付けができたことは嬉しいですね。

さて、みんなが飾り付けてくれたこの笹竹、実は前日の雨風が強い夕方に、学生(2年生)の〇君が中学校・附属幼稚園の裏まで取りに行ってくれたのです。みんなが素敵に飾り付けてくれたので、〇君も喜んでくれていました。

たいむと学生がコラボした七夕でしたが、みんなの願い事が天の上まで届くと良いですね。(本田)



■水あそび、はじまりました！！■



7月10日(金)待ちに待った水あそびが出来るようになりました。本当は6月上旬からを予定していたのですが、なかなか天候に恵まれず、残念ながらこの日まで延びてしまいました。

今年初の水あそびの日は、天気も良くまさに水あそび日和。外の暑さと戦ってきたお母さんのTさんと「今日こそは、間違いなく水あそびですね！」と、お互いにはりきり準備万端。

1才のTちゃん・Hくんは小さなカップやペットボトルのおもちゃに水を入れ、タライの中やマットの上に水をまいて遊んでいました。お母さん・スタッフがじょうろのシャワーを身体にかけると、気持ち良さそうに笑っていました。大人が水をかけるまでは、自分の身体にあまり水がかかるとも無く遊んでいた2人でしたが、自分でもじょうろの水を身体にかけて遊ぶようになり、さらに気持ち良さそうに遊び始めた2人でした。また、梅雨が明け、暑さも本格的になってきたので、大きなプールも用意しました。夏休みが始まったので、幼稚園の子どもたちが遊びに来てくれる機会が増えると思います。今よりも更に賑やかな声が聞こえてくるのでしょうか。



たいむの水遊びは、1才くらいから幼稚園児くらいのお子さんが一緒に、のびのびと遊べるようにしていけたらと思いますので、子どもたちが危なくないよう、みんなで見守っていききたいですね。
(本田)

■第2回 ドジョウつかみ大会&柳川舟を行いました！■



夏休みの第1弾イベントとして、7月23日(木)中庭にて、昨年、大人にも子どもにも大好評だった「ドジョウつかみ」を行いました。

当日は朝から雨が降っていたため開催が心配だったのですが、ドジョウ用プールにドジョウを放つ頃には雨もあがり、賑やかにドジョウつかみがスタートできました。1才～小学生までの子どもたちが入り混じり、素手やペットボトルのカップなどを使い、思考錯誤しながらどの子も真剣な様子。にゆるにゆると滑り、手の中から逃げ出そうとするドジョウ・・・頑張ってたかんでも逃げてしまい、プールや地面に落ちることもありました。お母さん方も挑戦し、「これは難しいね。」笑い声と楽しげな声が聞こえてきたり、「がんばれ！」「あっ！逃げちゃった！」などなど、大人も大興奮でした。また、通りかかる学生や教職員までもが興味津々で、なかにはドジョウつかみに挑戦する学生もいました。



最初は「いや、やらない。」と言っていた子も、周りの楽しそうな様子を見ていて、自分からドジョウに触りに行く子もでてきました。

地面に逃げてしまったドジョウをつかめず（触れず）、「助けてあげて。」と言うお母さんの一言に、目の前に落ちていた葉っぱをドジョウにかけている2才のE君。周りの大人たちは、E君の行動に「かわいいね」と笑って様子を見ていました。しかし、E君にとってはドジョウが何なのかかわからず、怖くて触れなかつただけなのでしょうか。しばらくするとドジョウに慣れてきたE君は、お兄ちゃんのR君と裸足でプールに入り、素手でつかむ姿にたくましさを感じました。興味とちょ

っとの勇氣・お母さんの後押しがあれば、子どもたちはいろいろなことに挑戦できるのでしょうね。お母さんも2人の子どもの様子を温かく見守っていました。



さて、みんなで頑張って捕まえたドジョウを使って柳川丼を作りました。ドジョウを水でよく洗ってからボウルに入れ、更にそこにお酒を入れて・・・。「あっ！すごく跳ねてるよ！」と、お酒を加えたことでドジョウが勢いよく動く様子に、大人も子どもも食い入るように見ていました。先程まで元気に泳いでいたドジョウが、今は目の前で食べ物に変わっていく。私たちが生きていくためには、生き物の命をいただいていくという

こと。調理の過程を見て、子どもたちは何を感じたのでしょうか。少し難しいかもしれませんが、この企画を通して子どもたちが学んでいくきっかけになればと思います。特に小学校1～3年生が興味深く観察していて、「自由研究にもちょうど良さそうだね」というお母さんの声もありました。

柳川丼が完成すると、苦手な食べられない子も「どんなの？」と気になり、お母さんのお皿をのぞき込んでいました。食べられる子は沢山おかわりをしてくれたので、残ることなくきれいに売り切れました。ドジョウを持ち帰るといってお母さんは、「唐揚げにしてみる」とにこにこ教えてくれました。

このようにドジョウつかみを体験する機会はあまりないかと思います。なかなか出来ないことからこそ、みんなで思い切り体験をする。今回のこの企画では、あまり話をしたことがないお母さん同士、子ども同士が話をしたり、遊んだり、時にはよその子を気にかけていたり、みんなが一体になって楽しむ姿が印象的でした。それと同時に、こういう機会を設けることで、人とのつながりを築ききっかけになるのかな？と思いました。天気が心配された日でしたが、たくさんの人たちが参加してくれました。大好評のこの企画、もしかすると来年もあるかもしれませんね。(本田)



■夏といたら・・・流しそうめん！！■



7月29日(水) 毎年恒例の流しそうめんを行いました。毎年夏が近づくと「流しそうめんはいつですか？」と聞いてもらえる程、大人気のイベントになっています。この日は第1回でしたが、25組68名の親子が参加しました。

幼稚園児や小学生の子どもたちは、自分たちで少しでも取ろうと頑張るのですが、なかなか上手いかずに四苦八苦。でも、自分で取った麺やフルーツは格別で美味しく食べていました。そうめんの他には、フルーツ・

一口ゼリーも流しました。これがまた子どもたちに大人気で、たくさん用意をしたのですが、嬉しいことに全て売り切れました。特にゼリーは箸やフォークでは取りづらく、「取れないよー」「やったー！取れたー！」など、ゲームを楽しむかのような子どもたちの楽しげな声が響いていました。1才の小さな子たちは一番下の方でお母さんと一緒に待っていてくれ、お母さんが取ってくれたそうめんを美味しそうに食べていました。そうめんに満足すると、子どもたちは目の前で流れる水に興味津々だったようで、竹の端から流れ落ちる水に触り「滝だー」と喜んでいました。



小学3年生のYちゃんは「そうめんを流したい」と、竹の真ん中の辺りから流してくれました。「他にお手伝いすることはありませんか？」とスタッフに聞き、積極的にお手伝いしてくれました。周りのお母さん方も「お姉ちゃんえらいね」「すごいね」と感心していました。手伝いの他にも、小さな子と遊んだり面倒をみていて、とても微笑ましかったです。

暑い中、事前の竹の準備に、2年生の石井ゼミの学生たちが竹を割り、節を落としてやすりできれいに磨いてくれました。学生たちの協力もあり、楽しい時間を過ごすことができました。みんな、どうもありがとう！（本田）

■今月のわらべうたサロン■

7月17日(金) 古山先生によるわらべうたサロンがありました。今回、子どもたちに人気のあったわらべうたは、こちらです。

「とっちゃん かっちゃん 鍛冶屋の子 あわててとびだす 風呂屋の子♪」
身近にある積み木などを使って、拍子木を打つように歌に合わせてカチカチと鳴らしていきますが、お母さんが積み木で音を出すと、子どもたちは目の前で動く積み木を良く見ていました。2回ほど歌を繰り返していると、「自分も！」というように積み木に手を伸ばし、楽しそうにカチカチと音を鳴らしていました。



古山先生はご自身の子育て談を交えながら、わらべうたを「日常のこんな場面です」
「こういう動きは子どもたちも喜んでくれますよね」など、たくさんお話をしてくださいます。また、たいむの子どもたちの成長と一緒に喜んでくださるので、スタッフ自身も毎月のお楽しみになっています。

次回は10月16日(金) 11:00~です。皆様のご参加お待ちしております。

■ウーパールーパーのぼうぼう成長日記■

たいむに仲間入りをして、もうすぐ3ヶ月になります。とっても小さかったぼうぼうですが、元気いっぱいにとんどん大きくなっています。

子どもたちが遊びにくると、ほとんどの子どもたちがぼうぼうの様子を観に行きます。ついこの前までは、気にはなるけれども、ちょっと怖いのか、恐る恐る水槽に近づいていた1才のYくん。最近では怖がることもなく水槽へ近づき、「あっ！あっ！」とぼうぼうを指さしながら教えてくれるようになりました。幼稚園児になると、「エサはもう食べた？」と、エサの心配もしてくれます。また、タイミングが合った時には、子どもたちにエサをあげてもらい、食べる様子を一緒に観察することもあります。その時の子どもたちの表情はとても真剣で、エサを食べる瞬間が観られると「あっ！今食べたね！速いね！」と嬉しそうに教えてくれます。とても微笑まし光景です。

廊下にはぼうぼうの成長日記&面白ポーズの写真を掲示しているので、ぜひ遊びにきてください。



千葉明德短期大学 育ちあいのひろば たいむ

【住所】〒260-8685 千葉市中央区南生実町1412 【短大代表番号】043(265)1613

【たいむ・おやこのじかん TEL】 043(332)2103 【E-mail】oyako@chibameitoku.ac.jp

【HP】<http://www.chibameitoku.ac.jp/tandai/hotstation/hotstation.html>

【facebook page】<https://www.facebook.com/hottostationtime>
